

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌

まなぶだより



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

令和6年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会 オンライン・平日開催

当センターでは、今日的な教育課題や学校が直面している課題の解決に向け、研修の実施及び調査研究を進めています。

本年度の研究報告会の前半では、「ICT等の活用」をテーマとした講演を予定しています。

また後半は、学びの丘研修員が1年間をかけて取り組んできた研究の成果や各学校の課題解決に向けての展望等を発表します。

研究報告会はオンライン配信の形態にて開催します。是非ご参加いただき、普段の業務に役立てていただければ幸いです。

日時：令和7年1月31日(金) 13:15～16:15

形態：オンライン配信

※参加方法等、詳細につきましては、近日
発送する2次案内にてご確認ください。



報告会の流れ

12:45	13:15	13:25	15:00	16:10	16:15
受付	開会挨拶	講演 和歌山大学 教授 豊田 充崇 氏 〈講演内容〉 ICT等の活用について ※講演テーマは2次案内で お知らせします。	研究報告		閉会挨拶
			ブレイクアウトルーム1 研究報告1	ブレイクアウトルーム1 研究報告3	
			ブレイクアウトルーム2 研究報告2	ブレイクアウトルーム2 研究報告4	

- ・研修員研究報告については、当日までに内容等を変更することがあります。
- ・経年研修(初任者研修、2年次研修、3年次研修、中堅教諭等資質向上研修【新規・継続】)の選択研修として出席することができます。その場合は、全ての日程に出席してください。

研修員の報告内容



所内での報告会の様子

研究報告 1
中学校 理科
・探究の過程
・検証計画の立案

研究報告 3
小学校 国語
・説明的な文章教材
・系統的な学習計画

研究報告 2
小学校 算数
・複式学級
・単元内自由進捗学習

研究報告 4
中学校 社会
・個別最適な学び
・協働的な学び



皆様のご参加を
お待ちしております



教師の学びの「軸」は学校にある～中堅教諭等資質向上研修～

本県中堅教諭等資質向上研修では、校内研修会の企画・運営を「要」としています。今年度も続々と校内研修会実施報告書が提出されているところです。「個別最適な学び」「ICT」「探究」等、中教審答申等でよく目にする言葉が並んでいます。研修受講を一つの契機に新たな学びに自ら踏み出そうとする様子が見て取れ、大変心強く感じます。「自らの日々の経験や他者から学ぶといった『現場の経験』も含む学びのスタイルの多様性」が重視される中で、受講者層の先生方がこれまで試行錯誤しながら積み上げてきた実践は何物にも代えがたい財産となっています。

自ら掴んだ気付きは、
新しい行動への強い動機付けになる。

気付き × 知識 × 行動 = 成果



参考：茨城県教育研修センター研究紀要第4集「行動変容を促す教員研修のデザイン」

経験を踏まえた現状把握 → 研修での「気付き」「学び」

→ 各校での実践に移すことが大事！

主体的に学び続ける教師の姿が重要なロールモデル

校内研修の充実が学校の活性化につながります。



「情報活用能力一覧表」の共通理解は必要不可欠です！

11月5日に実施した「効果的なICTの授業活用研修講座A」では、和歌山大学の豊田充崇教授に講義・演習を行っていただきました。「GIGAスクール第2期に向けた1人1台端末の効果的な活用に向けて」と題した講義の中で、「『情報活用能力』を意識化・見える化・評価できているか」を重点ポイントとし、少なくとも「きのくにICT教育」の情報活用能力一覧表（令和6年8月改訂）の共通理解が必要であると述べられました。また、教室掲示等で児童生徒と共有している学校を紹介いただきました。

「個別最適な学び」や「協働的な学び」を实践する上で、1人1台端末は必要不可欠なツールです。皆さんの学校は「GIGAスクール第2期」に向かっていますか。



きのくにICT教育のページにリンクしています。一覧表を目安に、こどもたちの情報活用能力を県全体で育てていきましょう。

✿学習指導要領解説総則編の一節✿

将来の予測が難しい社会において、情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいくためには、**情報活用能力の育成が重要**となる。

✿豊田教授が挙げた重点ポイント✿

- ・「情報活用能力」を意識化・見える化・評価できているか
- ・「デジタル教材」を有効活用できているか
- ・「情報モラル」を系統的に指導できているか
- ・「プログラミング教育」



『オススメまなび動画』

○実践力向上シリーズ

No.1、2、9、10、11

～独立行政法人教職員支援機構 動画教材～



現在、GIGA 端末を活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が着実に進められています。また、次のステージである「GIGA スクール第2期」に向けての動きも始まっています。まだGIGA 端末の活用不安のある方にも、よりよいGIGA 端末の活用を目指す方にも、参考になる動画です。是非ご覧ください。